



浪江国際研究 学園都市構想を策定

福島国際研究教育機構（略称：F-REI）の立地を踏まえた新たなまちづくりを推進するため、学園都市構想を策定しました。

地域のにぎわいの創出や住民生活の向上を目指すとともに、古き良き浪江町の風習・伝統・文化を継承していく町の将来の姿を見ていきましょう。

構想策定に当たって：町長メッセージ

すべての町民と当町に関わる法人、団体、すべてが私の家族です。もちろん、令和4年9月に川添地区に立地が決定したF-REIも家族の一員と考えています。

私の夢はこれらの家族みんなが互いに共生し、一人ひとりが幸せに暮らせる町をつくることです。

これからの浪江町はF-REIの立地に伴い、大きく変わっていく過程にあります。最初に「継往開来（先人の業を受け継ぎ未来を切り開く）」の言葉が心に浮かびました。浪江町を旧来の取組みと新しい取組みの融和により、「新たに浪江に関わる人たちと一緒に、先人が築き上げてきた歴史文化が引き継がれ」、「新しい産業が創出され、それを支える研究者や国際的な人材が育ち」、「国内外を問わず浪江に住み、訪れるすべての人にとって暮らしやすい」新しいまちをつかっていこうという考えから、この度、『浪江国際研究学園都市構想』を令和6年3月に策定いたしました。

浪江町だけではこの構想の実現は叶いません。双葉郡をはじめ、浜通りの自治体・国・福島県・企業・研究機関・教育機関などの関係者との連携・協力はもちろんのこと、当町に関わるすべての皆さまとともに、構想の実現に向けて邁進してまいりたいと考えています。

ぜひ皆さま、私と一緒に歩んでまいりましょう。

浪江町長 吉田 栄光



まち・暮らし

新しく浪江町に住む皆さまや外国から移り住む皆さまと共に生活する町になります。町内では、多くの若い人たちがこの地域をどうするかを活発に話し合い、様々な事にチャレンジしています。

また、研究成果を生活に取り入れて暮らしやすさが向上することや、研究者や学生など多様な皆さまと住民間の交流も盛んになり、川、山、海の自然に癒され、一人ひとりが生き生きと生活しています。

さらに、市街地を中心に、居住・滞在する皆さまなどの増加により商業施設や浪江の物産を使う飲食店などが立地し、毎日がにぎわうまちになっています。



産業・仕事

町の中で実証などが当たり前に行われ、チャレンジできるまちになり、様々な研究者や大学、企業などが町の中で活動しています。

これらの研究成果から多くの起業・産業化がなされ、町内企業と交流・連携し、この相乗効果で、さらに新しいビジネスが生まれ活気があるまちになっています。

新しい業態へのチャレンジ、既存業態の深化と発展などにより、多くの雇用が生まれ、都会に行かなくても生活していけるまちになります。



つながり

世界的な研究者や先端的な研究などと住民が触れる機会が生まれ、子供たちへの教育施設も充実し、浪江町から世界に羽ばたく人材が生まれています。

浪江町の環境が変わる中で、なくてはならない浪江町の歴史と文化を、新しく浪江町に住む皆さまなども担い手となり承継しています。

また、新たな文化として、常に新しいことに挑戦することが当たり前になり、新しい浪江町の誇りが生まれています。



構想の詳細については、ホームページをご覧ください。
また、構想の概要版を広報なみえ5月号に同封する予定ですので、併せてご覧ください。

詳しくは
ウェブへ



問 市街地整備課F-REI立地室 0240(23)6927

本構想の ビジョン

地域とF-REIをはじめとした多様な主体が 共生する持続可能なまちづくりの実現

※本構想では、地域の住民や事業者、復興に関わる団体、様々な研究機関など、当町に関わる個人、法人、団体を広く「多様な主体」と記載することとします。

【まちづくり】

目標1 誰もが過ごしやすいまちづくり

【産業づくり】

目標2 浜通り・福島県の全体最適視点による産業振興・雇用創出

【つながりづくり】

目標3 国際的な研究環境で活躍する人材などの育成・確保

目標4 伝統文化の承継と新たな浪江文化の創出